

二級建築士試験／木造建築士試験 指定科目に該当する開講科目一覧

1/2

学校種別: <b>大学</b>	学校課程コード: <b>2815-097-260</b>
所在地都道府県: <b>兵庫県</b>	審査受付番号: <b>171470</b>
学校名 課程名: <b>関西学院大学 総合政策学部 総合政策学科 建築士プログラム(令和03年03月31日募集停止等)</b>	
対象入学年: <b>平成29年度(2017年度)</b> 修業年限: <b>4年</b>	新規申請の認定通知日: <b>2017/12/25</b>
必要な実務経験年数 <b>試験時:最短0年 登録時:最短0年</b>	変更申請の認定通知日: <b>2020/12/25</b>

指定科目の分類	開講科目	履修学年	単位数
①建築設計製図	設計製図演習	1年	1
①建築設計製図	建築設計演習Ⅰ	2年	2
①建築設計製図	建築設計演習Ⅱ	2年	2
①建築設計製図	建築設計演習Ⅲ	3年	2
①建築設計製図	建築設計演習Ⅳ	3年	2
		小計	9
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築計画A	2年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築計画B	2年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築計画C	3年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	現代建築デザイン論	1年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	居住環境論	2年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	空間デザイン論	2年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	西洋建築史	2年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	日本建築史	2年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築環境工学	3年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築環境工学実験	3年	1
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築設備	3年	2
		小計	21
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	建築構造力学Ⅰ	2年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	建築構造力学Ⅱ	2年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	建築一般構造Ⅰ	2年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	建築一般構造Ⅱ	2年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	建築材料学	2年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	建築材料学実験	2年	1
		小計	11
⑧建築生産	建築施工	3年	2
		小計	2
⑨建築法規	建築法規	3年	2
		小計	2
⑩複合関連科目	CAD/CG演習	2年	1
⑩複合関連科目	建築CAD演習	3年	2
⑩複合関連科目	都市デザイン論	3年	2
⑩複合関連科目	ランドスケープ・デザイン	3年	2
⑩複合関連科目	比較都市論	2年	2
⑩複合関連科目	市民参加・NPO/NGO論	3年	2
⑩複合関連科目	都市再生論	3年	2
⑩複合関連科目	居住政策論	2年	2
⑩複合関連科目	都市・農村計画	2年	2
⑩複合関連科目	福祉住環境計画	3年	2
		小計	19

学校種別：大学

学校課程コード：2815-097-260

所在地都道府県：兵庫県

審査受付番号：171470

学校名 課程名：関西学院大学 総合政策学部 総合政策学科 建築士プログラム(令和03年03月31日募集停止等)

対象入学年：平成29年度(2017年度) 修業年限：4年

新規申請の認定通知日：2017/12/25

必要な実務経験年数 試験時：最短0年 登録時：最短0年

変更申請の認定通知日：2020/12/25

指定科目の分類	開講科目	履修学年	単位数
		①～⑨計	45
		①～⑩計	64

指定科目の分類別必要単位数(試験時・登録時)

① 3単位以上    ②③④ 2単位以上    ⑤⑥⑦ 3単位以上    ⑧ 1単位以上    ⑨ 1単位以上

修得単位数に応じた必要実務経験年数(試験時・登録時)の詳細は「二級建築士・木造建築士の受験・免許登録時の必要単位数(学校種類別)」を参照ください(例：上記、分類別必要単位数を満たし、かつ、①～⑩計40単位以上修得の場合、試験時：0年 登録時：0年となる)。